



## To Our Shareholders 株主の皆さまへ

# 時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第44期第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の事業の概況につきましてご報告をかね、ご挨拶申し上げます。

わが国の経済は、政府によるエコポイント制度の導入やエコカー減税などの経済対策を背景に企業業績に回復の兆しが見え最悪期を脱しつつありましたが、依然として厳しい雇用情勢が続く中、個人消費は伸びず、急激な円高による輸出不安や株式市場の低迷による金融リスクなど急速に先行き不安懸念が広がり景気回復は不安定に推移しました。

土木建設業界においては一般公共工事需要が細る中、学校や橋梁を中心に耐震補強工事需要は増加しました。一方、民間の建設設備投資需要は回復の兆しが見えず、新規の建設着工件数は低水準に推移し、厳しい受注競争が続きました。

このような環境のもとで、当社グループでは耐震補強分野において、グループ企業のシナジー効果を高め一層のコストダウンと市場競争力を高め、マンホール消散弁や乾式コアドリル等の独自開発製品による技術効果の有益性をPRし、耐震補強工事の受注獲得に全力を挙げ、売上増進をはかりました。また介護事業分野では前期に新設した事業拠点の地域に密着した営業を推進し、売上が増加しました。エコポイント制度の効果が見られた家電品や住宅関連商品売上はやや伸びたものの、民間設備投資の抑制で、建

設設備関連や工場設備関連の伸びは鈍化しました。一方で、販売費及び一般管理費の圧縮に全社的に取り組み、営業費用の圧縮に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高39億45百万円(前年同四半期比9.7%増)、営業利益は△1億27百万円(前年同四半期は△2億17百万円)、経常利益は△1億20百万円(前年同四半期は△1億66百万円)となり、四半期純利益は、△1億55百万円(前年同四半期は△2億39百万円)となりました。

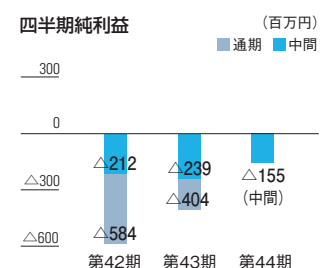
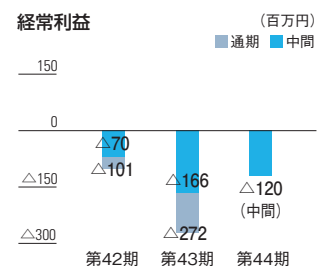
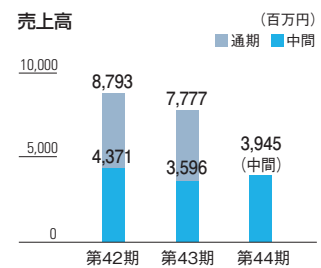
株主の皆さまのご支援にお応えすべく鋭意努力してまいりましたが、以上の決算状況により誠に不本意ながら中間配当につきましては、前回と同様に実施を見送らせて頂きたいと存じます。

通期の見通しにつきましては、土木建設業界の景気の早期回復は時間を要すると思われませんが、学校や橋梁等の耐震工事需要は依然として増加傾向にあり、期末に向け拡大すると思われる事から当社開発の乾式専用コアドリルなど高収益製品の需要が伸びるものと見込んでおり、受注獲得に全力を挙げてまいります。またマンホール耐震化消散弁の下半期受注も順調に拡大推移の見込みであります。また介護事業、IT関連事業も着実に伸展させてまいります。今後も一層の経営効率化を推進し、販売費及び一般管理費の圧縮に努め、早期の業績回復と向上に全力で邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
佐々木 秀隆



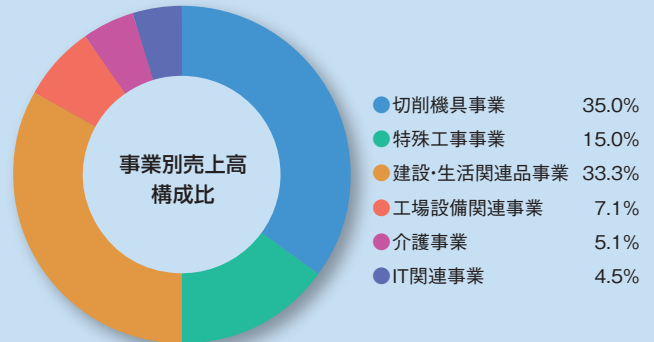
財務ハイライト  
Financial Highlights

# Segment Review 事業区分別概況

事業区分別売上高等は以下のとおりです。

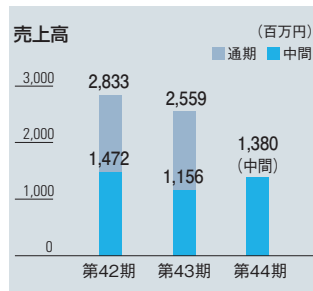
事業区分	売上高	営業利益	売上高構成比	前年同四半期売上高増減率
切削機具事業	1,380 百万円	64 百万円	35.0 %	19.3 %
特殊工事業	592	45	15.0	1.6
建設・生活関連品事業	1,316	△ 6	33.3	4.7
工場設備関連事業	279	2	7.1	△ 2.0
介護事業	200	△ 46	5.1	20.0
IT関連事業	178	△ 22	4.5	19.9
合計	3,945	37	100	9.7

(注) 1. 当期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しております。  
 なお、前年同期比較にあたっては前第2四半期連結累計期間分を組み替えて行っております。  
 2. 売上高欄の金額は外部顧客に対するものであり、セグメント間の内部売上高は含めておりません。  
 3. 営業利益欄の会計金額には、セグメント間取引消去及び全社費用は含めておりません。  
 4. 金額及び比率は、表示単位未満を四捨五入しております。



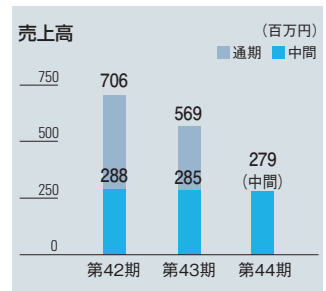
## 切削機具事業

マンホール耐震化工事システムおよび消散弁の受注が順調に伸びた事と、学校や橋梁等の耐震化工事が増加し、乾式コアドリル用ダイヤモンドやダイヤモンドワイヤー等の切削消耗品販売が伸び、売上高は13億80百万円（前年同期は11億56百万円）となりました。



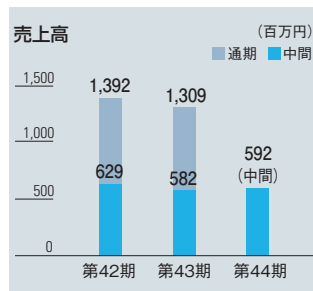
## 工場設備関連事業

民間設備投資の抑制で自動制御盤・配電盤等の需要も減少し、受注競争は一層激しく厳しい環境の中、売上高はほぼ前年並みを確保し、2億79百万円（前年同期は2億85百万円）となりました。



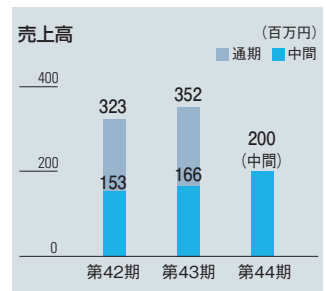
## 特殊工事業

一般の新規建設工事は低水準に推移しましたが、第2四半期において学校、橋梁等の公共設備の耐震工事が増加した結果、売上高は第1四半期の遅れを取り戻し、やや前年を上回り、5億92百万円（前年同期は5億82百万円）となりました。



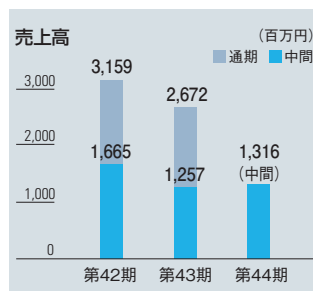
## 介護事業

高齢者専用賃貸住宅の認知度が増し、入居率が上がってきたことや、地域に密着したデイサービス・ケアプランサービスの利用者の増加等で、売上高は2億円（前年同期は1億66百万円）となりました。



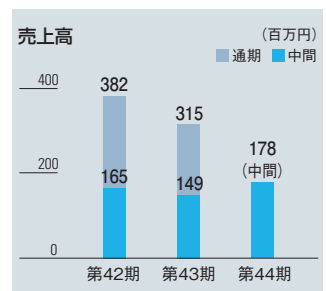
## 建設・生活関連品事業

新規住宅着工件数は低迷しましたが、耐震工事需要が広がり、機械工具・建設資材消耗品が増加した事と、家電エコポイント商品など住宅関連品の一部が伸び、売上高は13億16百万円（前年同期は12億57百万円）となりました。



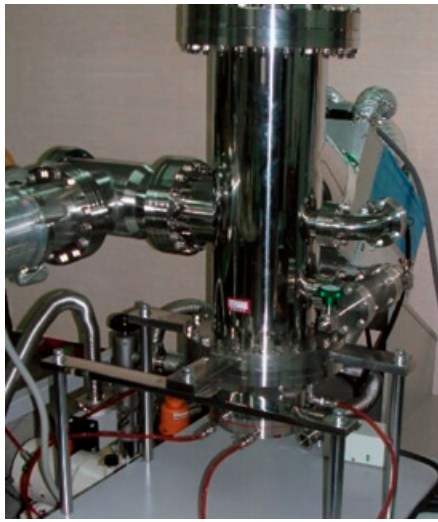
## IT関連事業

移転した東京事務所と一体となって都心部顧客への営業体制を強化し、広島との連携を推進した結果、売上高は1億78百万円（前年同期は1億49百万円）となりました。



## Topics

トピックス



光電子銃型 低エネルギー電子線照射装置  
(光のエネルギーを利用した電子線照射)

## 早稲田大学と共同研究開発

当社は早稲田大学と光電子銃型電子線照射装置関連技術並びに高性能燃料電池膜関連技術の分野で共同研究開発を行うことに基本合意致しました。

電子線は人工的に電子を加速してビームとしたもので、その大きなエネルギーを利用する照射技術は、産業用機器から台所用品などの家庭用品まで多くの素材製造だけでなく、印刷・医療など幅広い分野に適用されています。当社はこれまで、早稲田大学(鷺尾研究室)で、高出力無電極UV発光管、光電変換素子カソード材料の最適化等によって、光のエネルギーを利用した電子線照射装置を世界で初めて実用化しました。その新開発技術の適用分野は、各種研究機関で材質改質・滅菌性等の研究開発、高速印刷・高分子材料改質等の産業用途、滅菌機能を応用した医療機器の開発用途、高性能燃料電池膜などの分野へ非常に幅広く利用できることが期待されます。

## Consolidated Financial Statements Point 連結財務諸表のポイント

### 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
流動資産	4,485	4,439
固定資産	6,220	6,331
有形固定資産	5,526	5,580
無形固定資産	102	114
投資その他の資産	591	637
資産合計	10,705	10,770
流動負債	2,886	2,968
固定負債	972	733
負債合計	3,858	3,700
純資産合計	6,848	7,070
負債、純資産合計	10,705	10,770

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

### 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	3,945	3,596
売上原価	3,071	2,825
売上総利益	873	771
販売費及び一般管理費	1,000	988
営業損失(△)	△ 127	△ 217
経常損失(△)	△ 120	△ 166
四半期純損失(△)	△ 155	△ 239

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

## Corporate Profile 会社概要

### 会社の概要 (平成22年9月30日現在)

社名	株式会社コンセック (CONSEC CORPORATION)
本社所在地	広島市西区商工センター 四丁目6番8号 TEL(082)277-5451(代表)
設立	昭和42年11月6日
資本金	40億90百万円
従業員数	連結: 449名 単独: 241名
ホームページ	http://www.consec.co.jp
連結子会社	祥建企業股份有限公司(台湾・三重市) 北斗電気工業株式会社(広島県呉市) 株式会社サン・ホクト(広島県呉市) 南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市) 株式会社サンライフ(広島市西区) 株式会社デンサン(広島市南区)

主な事業内容	当社グループは次の物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っております。 【切削機具事業】 穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品等の製造および販売 【特殊工事事業】 アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事等 【建設・生活関連品事業】 建設機械・工具、住宅・生活関連機器等の販売 【工場設備関連事業】 自動制御盤、配電盤等の製造および販売 【介護事業】 デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅 【IT関連事業】 ソフトウェア受託開発、人材派遣
--------	--

### 役員

代表取締役社長	佐々木 秀 隆
専務取締役	吉 本 文 雄
取締役	千 田 稔
取締役	福 田 多喜二
取締役	原 田 文 栄
取締役	三 中 達 雄
常勤監査役	國 本 純 男
監査役	加 藤 公 敏
監査役	廣 本 邦 幸

### ネットワーク

支店	東京、大阪
営業所	札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、他21ヶ所
工場	広島工場
物流センター	広島配送センター



# Stock Information 株式の状況

## 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 28,600,000株
- 発行済株式の総数 ..... 18,640,112株
- 株主数 ..... 1,410名
- 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本鉱泉株式会社	2,692,000株	14.7%
佐々木秀隆	1,774,000	9.7
コンセック従業員持株会	828,592	4.5
株式会社もみじ銀行	583,200	3.2
株式会社損害保険ジャパン	434,000	2.4
岡田純子	327,176	1.8
吉田五郎	325,000	1.8
株式会社ガイビ	320,000	1.8
朝日生命保険相互会社	314,000	1.7
西川物産株式会社	310,000	1.7

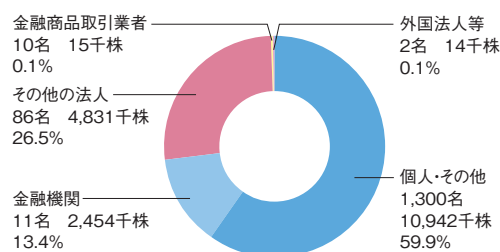
(注) 1.当社は、自己株式を384,510株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ (平成22年9月30日現在)

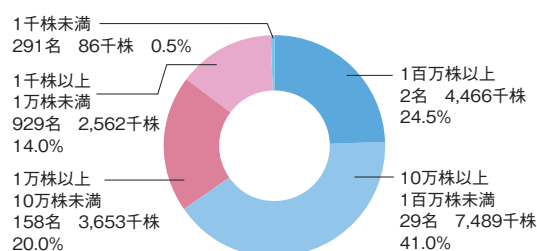
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所(JASDAQ市場)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.consec.co.jp/">http://www.consec.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

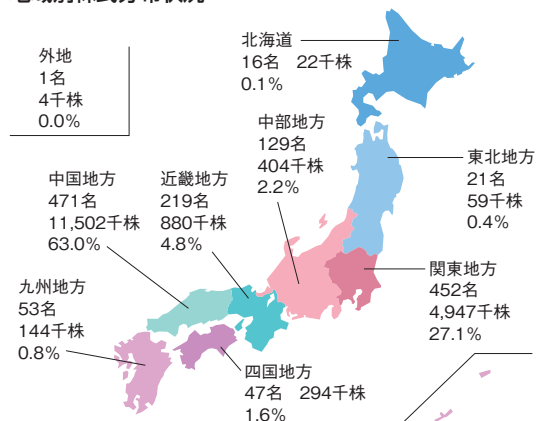
## 所有者別株式分布状況



## 所有株式数別株式分布状況



## 地域別株式分布状況



(注) 上記株式分布状況に関して自己株式(384,510株)を除外しております。

## ホームページのご案内



当社のホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp/>